

こんにちは

日本共産党市議員

森田 ゆみ子 です



2020/4/26号 日本共産党京都市議員団 TEL 075-222-3728 FAX 075-211-2130
市議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> 森田ゆみ子ホームページ <http://morita-yumiko.jp/>

自粛と補償は一体で!

医療崩壊を防ぐために職員に寄り添った支援を

新型コロナ問題で女性宣伝をしました

● 政府の自粛要請のもと、多くの芸術団体はイベント中止でほとんど仕事がありません。何カ月も準備をして、いよいよ御披露目なのですが、この間の自粛要請で多くのイベントが“休眠中”です。コロナの自粛要請が解除されるまで、発表を控えている美術作品や、舞台の衣装や大道具・小道具等を保存していくための倉庫を借りるなど、経費はかかり続けます。そして、アーティスト1人1人の生活を支えるためにも、文化に特化した補償が必要です。私も元舞台女優をしていましたが、ギャラだけでは食べていけず、アルバイトをしていました。コロナの影響でアルバイト先も自粛休業しています!!これでは文化・芸術の灯が消えてしまいます。補償があってこそ自粛。政府は、この当たり前のことを決断すべきです。

● 感染拡大を防ぐためには、政府が言うように80%の方が自粛する必要があります。しかし、休まないでほしいとされているお仕事もあります。運搬業や、食料品、日用品のお店がそうです。とりわけ命を預かるお仕事は休みたくても休めません!!



● 家庭を持つ医療従事者が安心して働くためには、家族を安心して預けられる保育所や介護施設が充実していなければいけないのではないのでしょうか。政府はこれらの命を預かるお仕事をされている、1人1人に寄り添った支援を行うべきです。



森田ゆみ子活動日誌

安倍のマスク(466億円) イラナイヨ

● 使い捨てマスクが手に入らなくなってから、ハンカチなどを利用してマスクを作って活用していました。家族の分もとゴムを買いに行きましたが、ヘア用のゴムすらぜんぜん手に入りません!!

● この間、多くの方が私のようにマスクを手作りしたようです。ゴムのかわりにストッキングが使えます。使わなくなったストッキングを縦に2センチ幅に切ると伸縮性があって使い心地グッドです。

